

2024-25RI 会長:ステファニー・アーチック ガバナー:五十幡和彦 会長:大谷純一 / 幹事:清水龍男
例会日:木曜日午後 12:30 会場商工センター 編集・発行:クラブ会報委員会 委員長:松岡 保

第31回(第2770回) 2025年 4月第1例会 4月3日(木)

【iPS 細胞の基礎】

京都大学 iPS 細胞研究財団 井出 美帆様

- 点鐘 / 大谷純一 会長
- 国歌/ロータリーソング/四つのテスト 唱和
- 会長の時間 / 大谷純一 会長
- 幹事報告 / 清水龍男 幹事
- ロータリーの友読み処紹介
- 誕生祝い

- 卓話
 - 出席状況・ニコニコ報告
 - 点鐘 / 大谷純一 会長
- 司会進行 宮内会員

○点 鐘 大谷純一 会長

会長の時間 / 大谷純一 会長



皆さん、こんにちは！

本日は、先ほどご紹介させて頂きました京都大学 iPS 細胞研究財団から、わざわざ行田までお越し頂いての例会になるのですが、実はこの日本で開発された医療技術である iPS 細胞の研究を日本のロータリークラブで広く支援の輪が広げられたらいいなと思っております。

そんな思いもあつたものですから、2570地区の会長幹事会で、今後のロータリーの運動展開として、ご検討いかがでしょうか？という意味合いで投げかけてみました。

その時の文言を紹介します。

京都大学 iPS 細胞研究財団という組織があります。

山中伸弥教授らが、世界で初めて iPS 細胞の作製に成功した、日本独自の世界に誇れる医療技術で

あり、2012年にノーベル医学・生理学賞を受賞したことは、ご承知おきのことと思います。

行田 RC では、一日も早い実用化を目指す京都大学 iPS 細胞の研究財団に6年ほど前より、わずかな金額ではありますが、寄付を行っております。

国からの支援では、全然足りないのが実情のようで、患者さんのため必死で開発に携わる技術者の雇用を守り続けたいと、山中教授自らが広告塔になって寄付を求めています。

そのような話をするのも、日本で開発された医療技術をできれば、日本のロータリークラブで広く支援の輪が広がれたらいいなと思っているからです。

まずは、2570地区第5グループからと思い、話をさせて頂いているのですが、もしご興味あるクラブがございましたら、今年度はともかく次年度以降、事業に加えて頂けたらありがたいと思います。

来年、4月にはこの iPS 細胞の例会を開催いたしますので、よろしかったら行田 RC までご来訪頂けたら有難いです。

といったところなのですが、残念ながらスルーされてしまったのです。ポリオ撲滅運動より数段意義あることと思えるのです。ロータリーの本部はアメリカですので、日本発のテーマを受け入れられるのは難しそうですが、今後、地区の機運を高めていけたらいいなと思います。

今日は、この後のパワーポイントの時間もちょっと長そうなので卓話の時間を多くとりたいので、挨拶はこの辺にしておきます。

それでは4月の例会案内をご覧頂きたいと思います。

幹事報告

4月定例理事会



- 1 前回議事録承認の件
- 2 4月プログラム変更の件
- 3 5月プログラムの件
- 4 米山梅吉記念館寄付の件
- 5 令和7年緑の募金の件
- 6 その他

米山梅吉記念館の寄付は行わない。その他すべて承認されました。

委員会報告



親睦碓井委員長

4月11日12日の親睦旅行

集合7時20分大宮駅在来線南改札前集合です。

ロータリーの友



横書きP5 R1 会長メッセージ

P8 防災のTKGについて

P10 イタリアに学ぶ防災術

P30 エバンストン便り

縦書きP4.身近な水から未来の地球を考える

一読ください。

ロータリーの友 関委員

誕生祝



代表挨拶 斎藤浩二会員

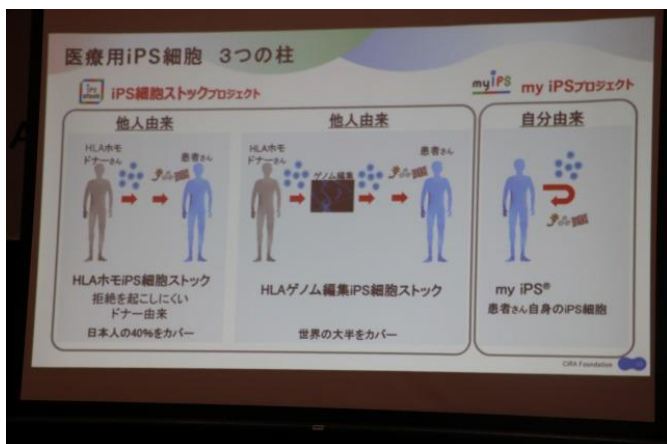
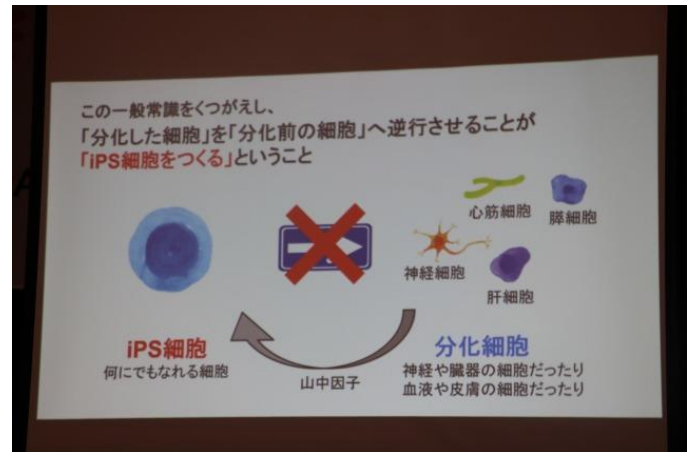
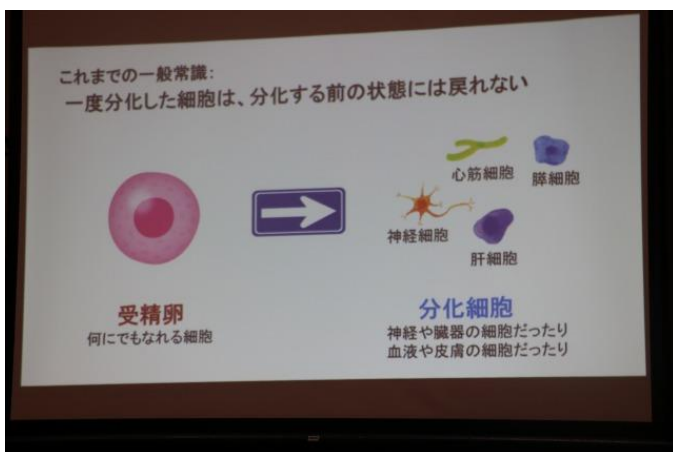
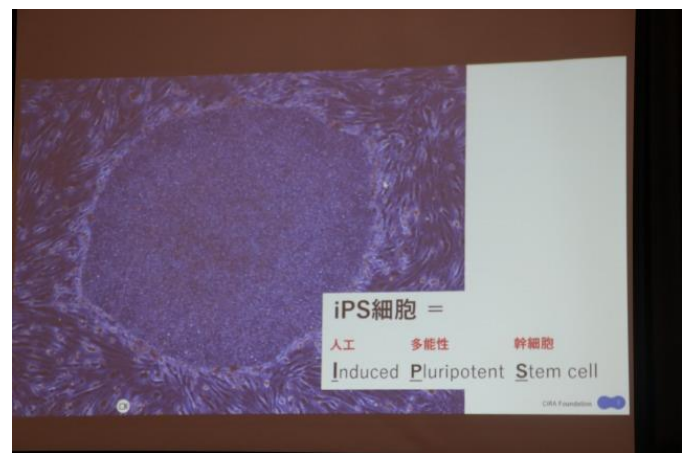


ベトナムの話はとても面白かったです。



公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団
社会連携室 寄付グループ長 井出 美帆様

「名前は知っているけどiPS細胞ってどういう技術？」「iPS細胞によって世の中はどう変わるの？」といった疑問をお持ちの方向けに、iPS細胞の基礎的な内容やiPS財団の取り組みについてわかりやすくお話していただきました。



iPS細胞研究所とiPS財団：それぞれの役割

京都大学iPS細胞研究所 (CIRAF)

- 前臨床研究
- 基礎研究
- 研究者育成
- 論文
- 創薬研究

京都大学iPS細胞研究財団 (iPS財団)

- 企業との契約
- iPS細胞の製造・品質管理
- 臨床用分化細胞の製造
- 細胞の保管・提供

2020年4月1日
公益財団法人として活動開始

CIRAF Foundation

細胞調製施設 (FiT) で細胞製造を行う様子

- ・清浄度を保つため、滅菌された服装で、アイソレータという機械の中で細胞製造の作業をします。
- ・製造した細胞を液体窒素で凍結保存しています。
- ・凍結された状態で研究機関や企業に提供されます。
- ・基本3名体制で、1名は全ての作業を監視・記録します。

CIRAF Foundation

iPS stock 臨床への適用

◆2025年、京都大学医学部附属病院がiPS細胞で1型糖尿病の治験実施へ

- ・免疫の異常などで発症されるとする「1型糖尿病」について、2024年10月2日、京都大学医学部附属病院は、iPS細胞を使った治験を開始すると発表しました。
- ・iPS細胞から血糖値を下げるインスリンを分泌する膵島の細胞を作製し、シート状にしたものを患者さんに移植する計画です。
- ・治験の計画を国に届け出ており、2025年1月にも開始したいとしています。

CIRAF Foundation

iPS細胞の医療応用

初期化 → iPS細胞

血液や皮膚の細胞

どんどん増える様々な細胞を作る

神経細胞 心筋細胞 筋肉細胞 肝臓細胞

細胞移植治療 (再生医療) 薬の開発 (創薬)

CIRAF Foundation



碓井会員も寄付されました。



正会員数	54名
出席者	34名
出席率	63%
ニコニコ報告	12,000円

出席状況

司会兼務、プログラム 坂本篤子委員長

- 大谷会長/井出さん、谷川さん、本日は京都からわざわざお越し頂きありがとうございました。
i P S細胞が日本、世界を救うことを祈っております。藤田先生にもよろしくお伝えください。
- 清水幹事/井出様、谷川様、京都から遠路有難うございます。宜しくお願ひ致します。
- 蔭山会員/ i P S財団の先生方、京都からはるばる行田に、ご苦労様です。今後ともよろしくお願ひ致します。
- 横田会員/本日はよろしくお願ひ致します。
- 斎藤浩二会員/誕生祝ありがとうございます。
- 小椋会員/クラブ第4回コンペで会長賞いただきました。大谷会長ありがとうございます。